科目ナンバリング	U-LAS04 10010 LJ45						
授業科目名<英訳>	社会学Ⅰ Sociology I			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 高橋　顕也		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

社会学には誰もが学ぶべき一般理論と呼べる王道は存在しない。したがって、社会学のものの見方を体得したいなら、学習者自身の興味関心と対話しつつ、多種多様な理論の間を逍遥していく必要があるだろう。
本講義では、社会学史を概観しながら、社会現象を理解し、解釈し、説明しようと試みてきた理論や学説について講義する。また、それらがどのような社会的背景のもとで考え出され、現代社会とそこに生きる個人をどのように捉えようとしてきたのかを解説する。
「社会学I」では社会学の成立前後から確立期を経て古典的な総合に至る20世紀中葉までの道をたどる。

[到達目標]

1）社会学の概念や思想、理論や学説について把握し、それらが生み出された社会的背景と併せて、説明することができる。
2）社会学の概念や思想、理論や学説を用いて、種々の社会現象について記述・解釈・説明・批判をすることができる。

[授業計画と内容]

第1回　社会学理論への導入
第2回　近代以前の社会思想
第3回　功利主義と個人主義
第4回　実証主義と集合主義
第5回　E. デュルケム
第6回　理念主義と意味理解
第7回　M. ヴェーバー（1）
第8回　M. ヴェーバー（2）
第9回　K. マルクス（1）
第10回　K. マルクス（2）
第11回　G. ジンメル（1）
第12回　G. ジンメル（2）
第13回　T. パーソンズ（1）
第14回　T. パーソンズ（2）
第15回　フィードバック

[履修要件]

同じ授業担当者の「社会学Ⅱ」（後期）の内容は本科目の続きとなっているので、連続履修をすると両科目の理解が深まる。（連続履修は必須ではない）

社会学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

社会学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

授業への参加状況、小テスト、小レポートなどの平常点（100点）により評価する。
詳細は初回の授業で説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

Joas, H. &. Knöbl, W. 『Social Theory: Twenty Introductory Lectures』（Cambridge University Press, 2009）ISBN:978-0521690881

Inglis, D. & Thorpe, Ch. 『An Invitation to Social Theory』（Polity, 2018）ISBN:978-1509506392

作田啓一・井上俊（編）『命題コレクション社会学』（筑摩書房, 2011）ISBN:978-4480094247

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前後に参考書や授業中に紹介する文献を読んでおくと理解が深まる。

[その他（オフィスアワー等）]

講義内容などについての質問は授業前後に教室で受け付ける。

[主要授業科目（学部・学科名）]